

はじめに

岐阜県では、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波に対して、県民の生命と健康を守るため全庁体制で感染対策に取り組んでまいりました。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に位置づけられましたが、位置づけ変更によってウイルスの特性が変わるものではないため、引き続き、感染防止対策や医療提供体制の整備について、取り組んでまいります。

飛騨保健所としましても、感染状況を丁寧に把握し、日頃から関係者の皆様方と連携することで、飛騨地域の医療体制の整備に努めてまいりますので、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、このたび、飛騨地域の保健衛生の概要をまとめた令和5年度統計版の『飛騨圏域の公衆衛生2024』を発刊させていただきました。

本冊子の歴史は古く、旧高山保健所の時代の昭和30年に「公衆衛生便覧」として発刊し、昭和39年からは飛騨公衆衛生協議会の御支援のもと「飛騨の公衆衛生」と名称を変更して発刊を続けてまいりました。

同様に、旧益田保健所においては、益田公衆衛生協議会の御支援のもと、「益田の公衆衛生」が発刊されました。

「飛騨の公衆衛生」と「益田の公衆衛生」の発刊は、旧高山保健所と旧益田保健所がそれぞれ別の保健所であった平成11年度まで続き、平成12年度の県組織の再編により飛騨地域保健所となって以降、今日まで『飛騨圏域の公衆衛生』として毎年発刊する運びとなっています。

本冊子を業務の参考として広く活用していただければ幸いです。

令和7年3月

飛騨保健所長 氏平 高敏